

道路施設の老朽化対策【国土交通省】

施策概要

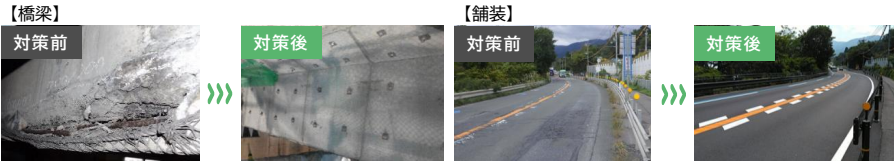
急速に進展する道路施設の老朽化に対し、定期点検等により確認された修繕が必要な道路施設の対策を重点的に実施

効果

橋梁等の道路施設について、機能や性能に不具合が発生する前に対策を講じる「予防保全」での管理に移行し、ライフサイクルコストの低減や持続可能な維持管理を実現

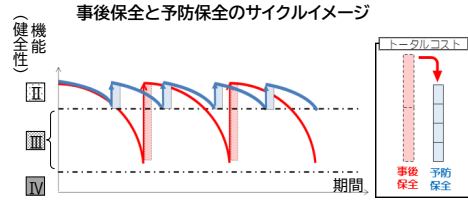
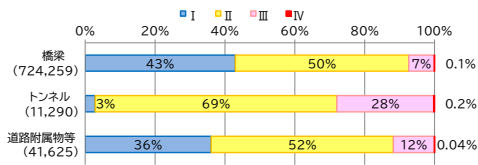
全国的な対策と効果

対策 早期または緊急に措置を講ずべき橋梁や路盤の損傷の修繕等による長寿命化を実施
地方公共団体が管理する道路において、老朽化した橋梁約69,000箇所の修繕に着手（R6年度時点）

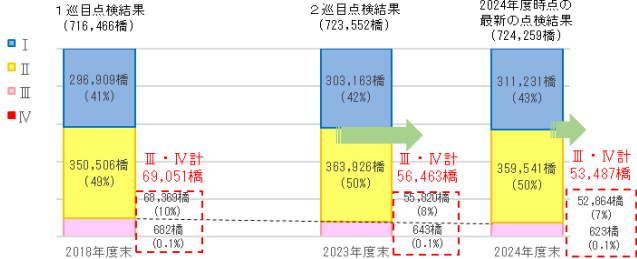


5か年加速化対策の効果

橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（全道路管理者・令和6年度末時点）



橋梁の過年度の点検結果における判定区分の推移



➢ 早期又は緊急に措置を講ずべき施設（判定区分Ⅲ、Ⅳ）の対策を推進することで、予防保全段階（判定区分Ⅱ）での管理が可能になる。

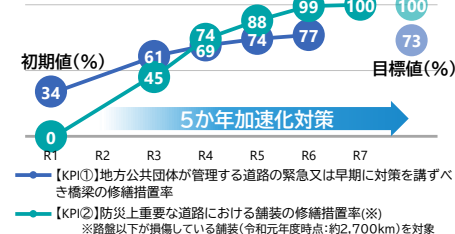
➢ また、事後保全より、予防保全での管理を行うことがライフサイクルコストの低減が可能となる。

予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
1,210億円	1,033億円	1,005億円
R6	R7	累計
1,115億円	1,039億円	5,402億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

目標達成の見通し



整備事例

老朽化した橋梁の架替により、安心・安全な交通を確保し、災害時の被害軽減も図る



熊本県



熊本県菊池市泗水町



一般県道辛川鹿本線
合志川橋梁架替事業

管更生工事の状況



損傷状況(橋脚鉄筋露出)



対策状況



事業費

77.91億円の内数（うち5か年加速化対策(加速化・深化分)11.71億円の内数）
※個別事業費は非公表

事業の背景(地域の課題)

合志川橋が架かる一般県道辛川鹿本線は、菊池郡菊陽町辛川の国道443号を起点とし、山鹿市鹿本町の国道325号に至る延長30kmからなる道路であり、菊池市泗水町中心地を縦断する基幹道路の役割を担うほか、泗水小・中学校の通学路としても重要な道路です。
平成24年7月豪雨の際には、合志川橋において流木による河積阻害や両岸堤防からの越水被害などの被災がありました。

事業の内容

合志川橋は、1942年(橋齢77年)の架橋から老朽化が進行し、主桁のひび割れや橋脚の剥離鉄筋露出など劣化が著しく、早期に措置を講ずべき状態(判定区分Ⅲ)となっていることから、大規模更新(架替)を実施しました。

見込まれる効果

事業の実施により、本事業と併せて歩道を整備したことで通学路としての機能確保や幅員が広がったことによる安全で円滑な交通の確保、橋脚数を減らし合志川の流下能力を向上させたことによる大規模水害時の橋梁流失の恐れ軽減等の効果が見込まれます。

(1) 人命・財産の被害最小化

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(2) 交通・ライフラインの維持

2 インフラの老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 災害関連情報の高度化